

平成21年度(4)

県政モニター アンケート報告書

テーマ「これからの科学技術」

平成21年12月

も く じ

調査の概要	1
調査結果	
1 科学技術への関心	3
2 科学技術が家庭の話題になる頻度	5
3 科学技術に対するイメージ	7
4 科学技術により向上したもの	9
5 科学技術の発展による不安理由	11
6 科学技術の発展による不安なこと	12
7 科学技術が貢献すべき分野	13
8 大学に期待する科学技術に関する取り組み	14
9 企業に期待する科学技術に関する取り組み	16
10 県が進めるべき科学技術推進施策	18
11 自由意見	20
質問と回答	25

調査の概要

1 調査のテーマ

これからの科学技術

2 調査の趣旨

世界的な金融危機を発端とした景気の長期低迷や、地球環境問題、食料問題、資源・エネルギー問題等の地球的課題の顕在化、また国内では人口減少・少子高齢化等の社会構造の変化等、近年の社会や経済の環境が著しく変化しています。

そうした中、豊かな県民生活を実現するためには、産業の基盤となる科学技術の推進を図っていくことが欠かせません。

そこで、愛知県では平成11年3月に、地域の科学技術の振興を推進していくために、中長期的な指針及び計画として、平成22年度を目標年次とする「愛知県科学技術推進大綱」を策定いたしました。

今回のアンケートでは、県民の皆様の科学技術に対する意見等を把握し、新しく平成23年度を始期とする愛知県の科学技術基本計画を策定するにあたり参考とするために、県政モニターの皆様にご意見をお聞きしました。

注：今回の調査では、「科学技術」を、大学などで行われている先端的な研究や、企業で行われる開発やものづくりなどを意味するものと定義してお聞きしました。

3 調査対象

県政モニター 496人 (平成21年9月8日現在)

内訳

区 分	計		名古屋地域	尾張地域	三河地域	
	人 員	構 成 比				
総 数	496人	100.0%	151人	189人	156人	
性 別	男 性	243	49.0	74	93	76
	女 性	253	51.0	77	96	80
年 代 別	20 代	72	14.5	21	30	21
	30 代	106	21.4	31	42	33
	40 代	88	17.7	23	32	33
	50 代	86	17.3	25	30	31
	60 代 以上	144	29.0	51	55	38

4 調査期間

平成21年 9月 8日から平成21年 9月20日まで

5 調査方法

郵送・インターネット（選択）

6 回答者数

480人（回収率96.8%）

【記号・符号・用語の説明】

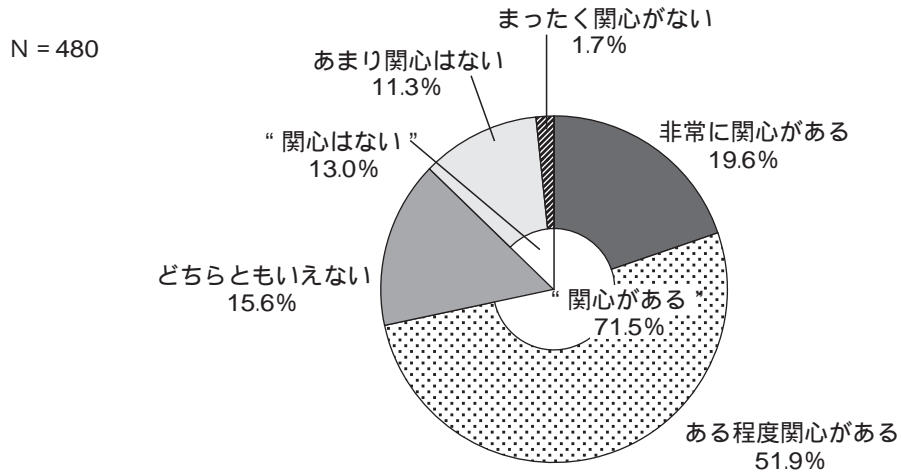
- (1) N (Number of Cases の略) は比例算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- (2) M. T. (Multiple Total) は複数回答を認める質問に対する回答の比率の合計を示す。(無回答者の数値は含まない。)
- (3) 回答が1つの質問であっても、小数第2位を四捨五入して割合を求めているため、合計が100%にならないことがある。

調査結果

1 科学技術への関心

問1 あなたは「科学技術」に関するニュースや話題についてどの程度の関心をおもちですか。

(回答は1つ)

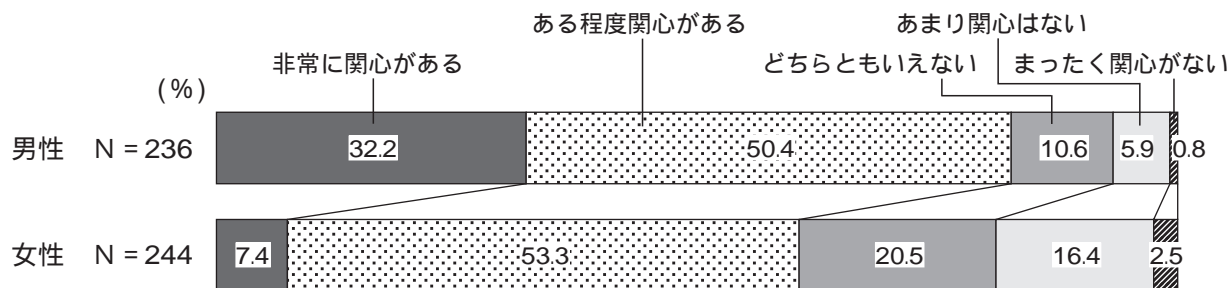


「科学技術」に関するニュースや話題についてどの程度の関心があるか尋ねたところ、「非常に関心がある」が19.6%、「ある程度関心がある」が51.9%で、これらを合わせた「関心がある」が71.5%に対し、「あまり関心はない」が11.3%、「まったく関心がない」が1.7%で、これらを合わせた「関心はない」は13.0%となっている。

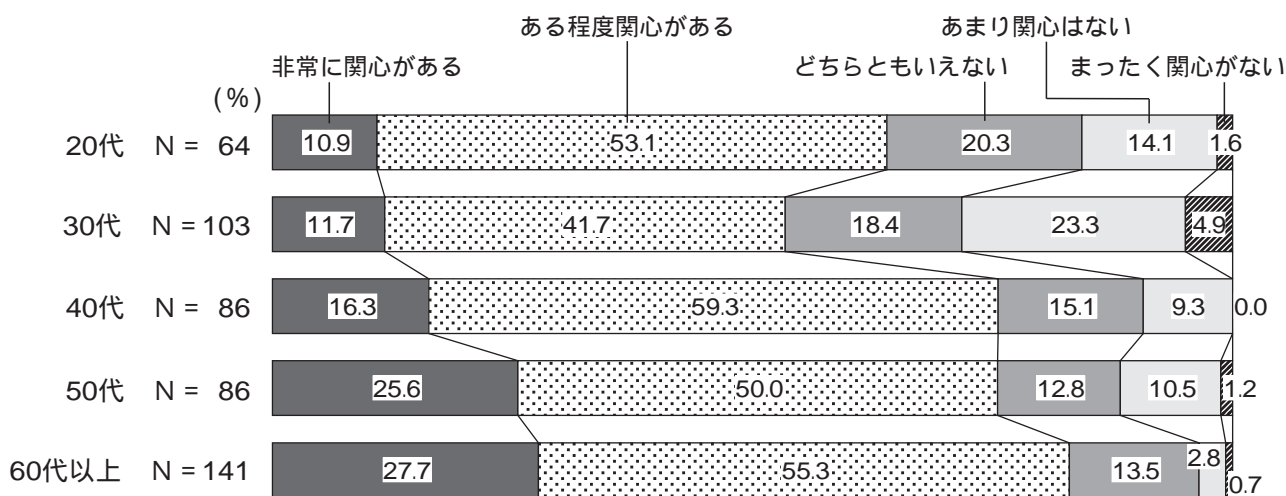
男女別にみると、「関心がある」と答えた人の割合は男性で高くなっている。

年代別にみると、「関心がある」と答えた人の割合は60代以上で高くなっている。

(男女別)



(年代別)

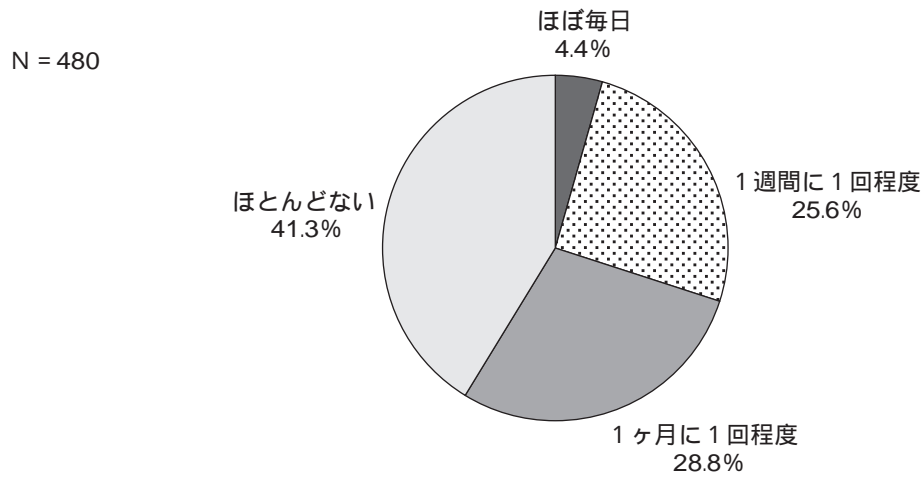


「科学技術」に関心のある方が7割以上と非常に高い割合を示し、また性別や世代に関わらず、半数以上の方が「科学技術」に関心をもっています。

愛知県では、これからも「科学技術」に関する様々な取組みを行うとともに、あらゆる世代に向けて、分かりやすく情報を提供するよう進めてまいります。(産業労働部新産業課科学技術推進室)

2 科学技術が家族の話題になる頻度

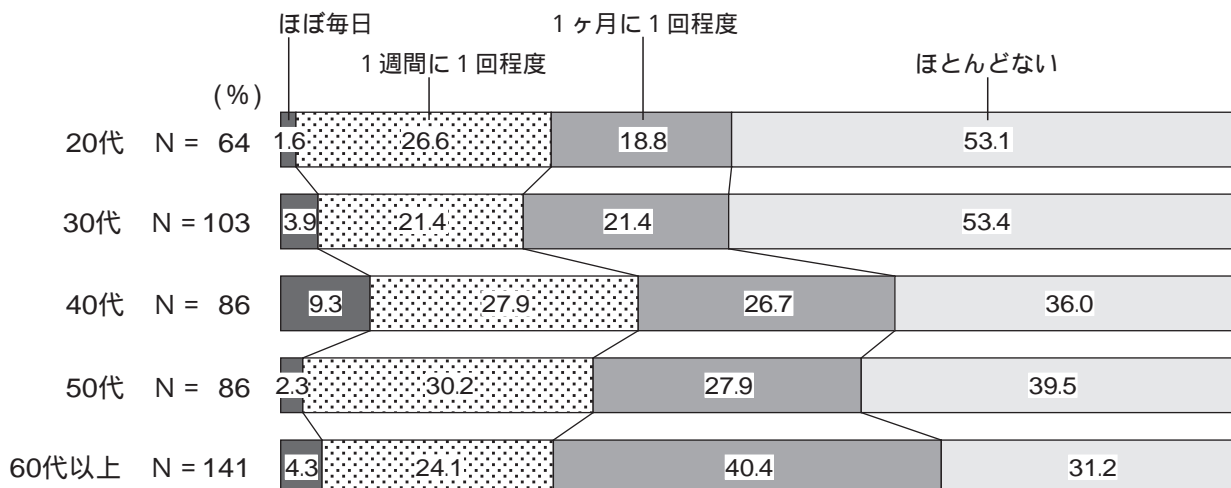
問2 家族の会話の中で、「科学技術」や「理科」が話題になることがありますか。(回答は1つ)



家族の会話の中で、「科学技術」や「理科」が話題になることがあるかを尋ねたところ、「ほぼ毎日」が4.4%、「1週間に1回程度」が25.6%、「1か月に1回程度」が28.8%に対し、「ほとんどない」が41.3%となっている。

年代別にみると、「ほとんどない」と答えた人の割合は20代と30代で高くなっている。

(年代別)

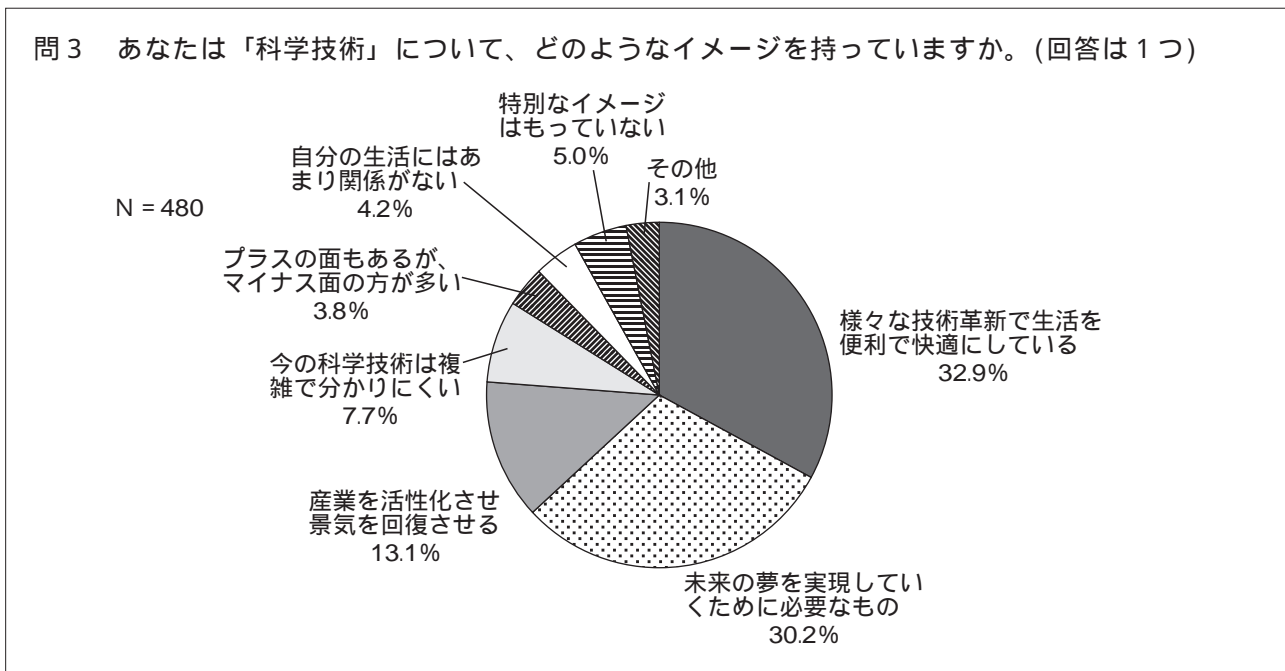


ここ数年、「科学技術」や「理科」に関するテレビ番組やイベント（理科実験を楽しく見せるサイエンスショー等）が多くあり、一般の方も身近に触れる機会が増えてきていると思います。

それでも、家族の会話の中で「科学技術」や「理科」が話題になることがほとんどないと回答した人が4割以上と高いですが、小学生や中学生等の子供を持つ人が多い40代以上の世代で、「科学技術」や「理科」を話題にすることが多くなる傾向がうかがわれます。

(産業労働部新産業課科学技術推進室)

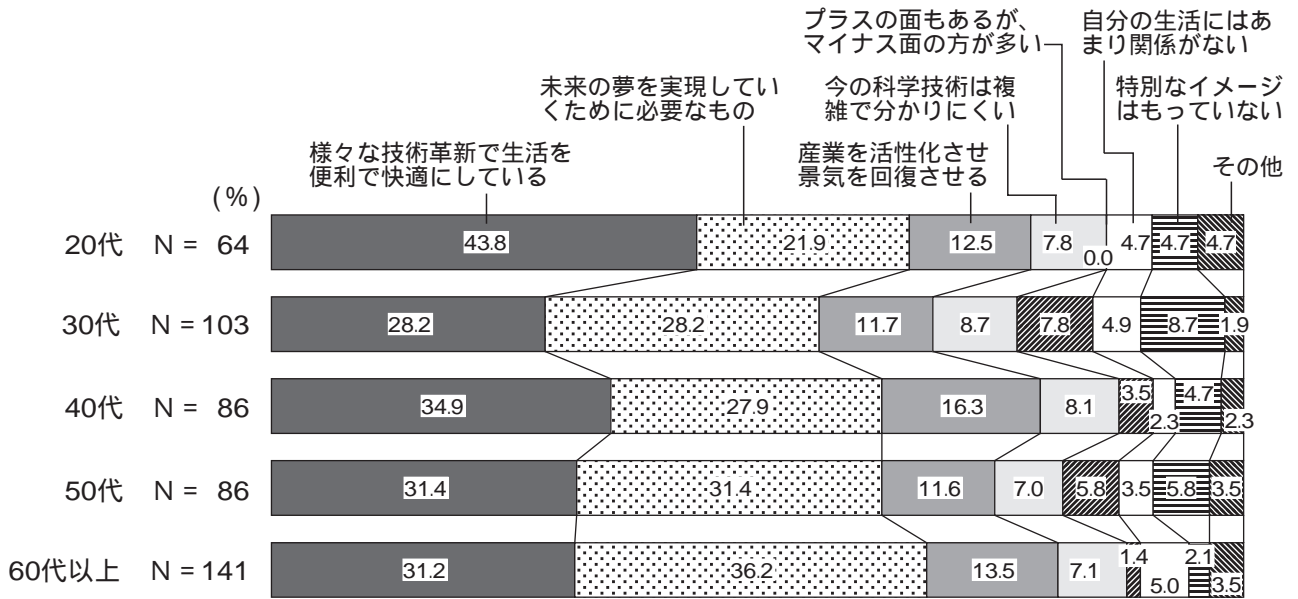
3 科学技術に対するイメージ



「科学技術」について、どのようなイメージを持っているか尋ねたところ、「様々な技術革新で生活を便利で快適にしている」が32.9%、「未来の夢を実現していくために必要なもの」が30.2%、「産業を活性化させ景気を回復させる」が13.1%などとなっている。

年代別にみると、「様々な技術革新で生活を便利で快適にしている」と答えた人の割合は20代で最も高く、「未来の夢を実現していくために必要なもの」は60代以上で最も高くなっている。

(年代別)



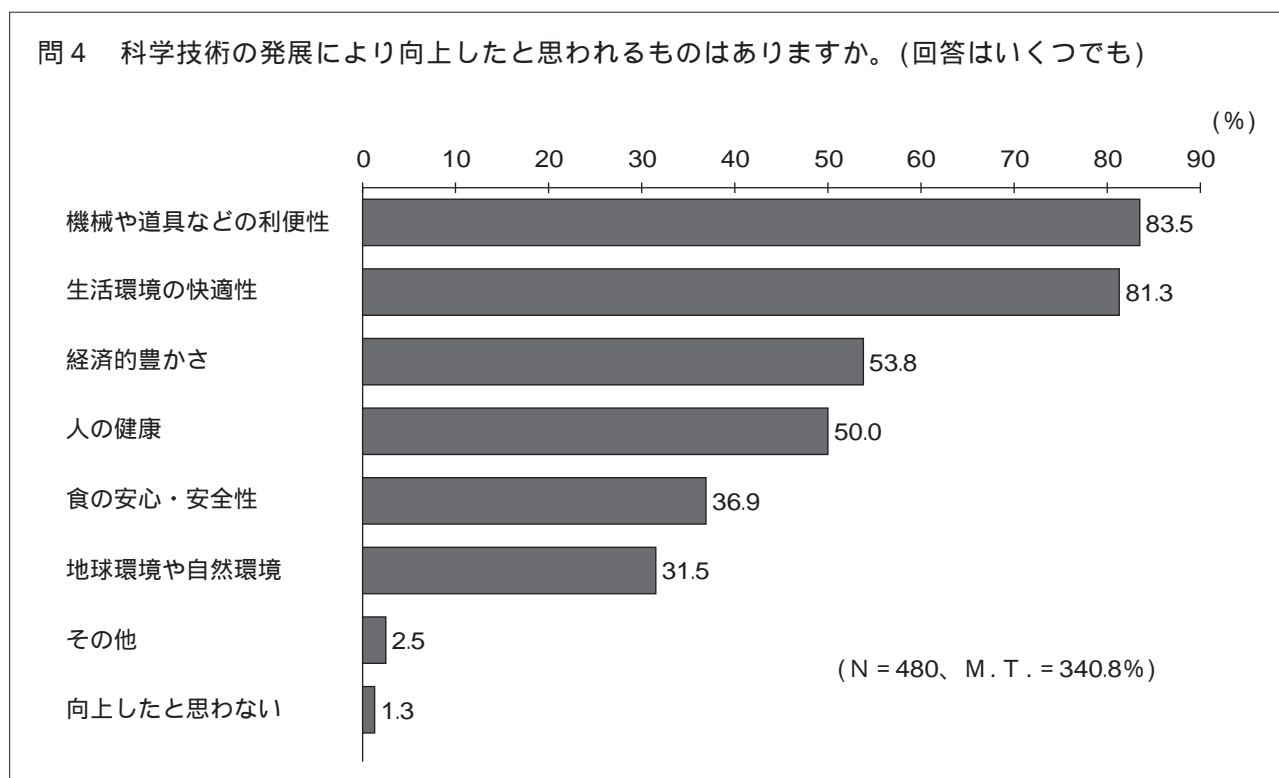
「科学技術」については、現在の生活を快適にし、将来に向けても夢を実現し、産業を活性化させるものとして、広く必要なものと認識されていると思われます。

一方で、「科学技術」は、複雑で分かりにくく、マイナス面の弊害が多いことなども指摘されています。

「科学技術」を享受される人の視点に立った取組みが、今後も一層重要になるものと思われます。

(産業労働部新産業課科学技術推進室)

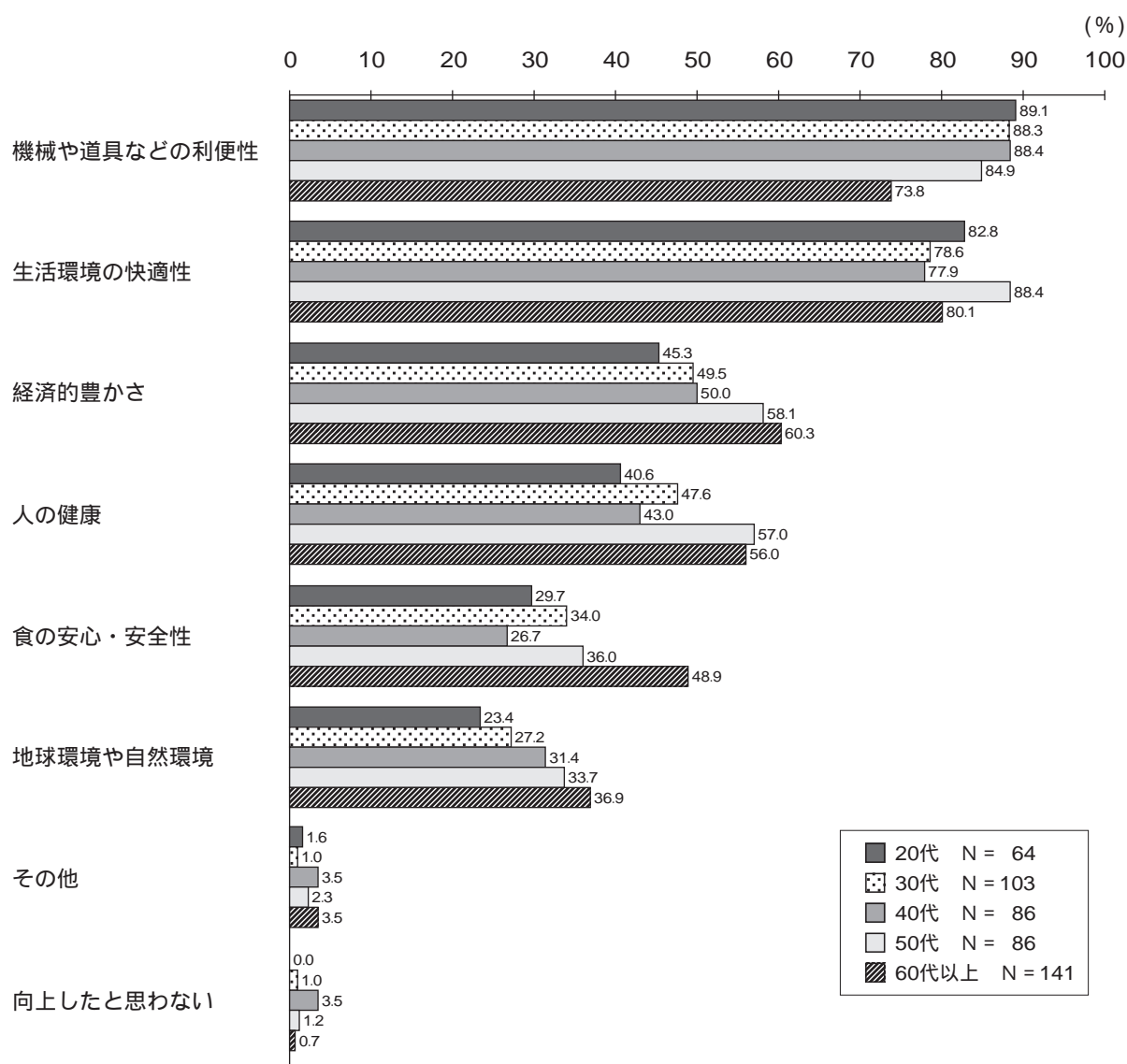
4 科学技術により向上したものの



科学技術の発展により向上したと思われるものは何かを尋ねたところ、「機械や道具などの利便性」が83.5%、「生活環境の快適性」が81.3%、「経済的豊かさ」が53.8%、「人の健康」が50.0%などとなっている。

年代別にみると、「機械や道具などの利便性」と答えた人の割合は20代から40代で、「生活環境の快適性」と答えた人の割合は50代で、それぞれ高くなっている。

(年代別)



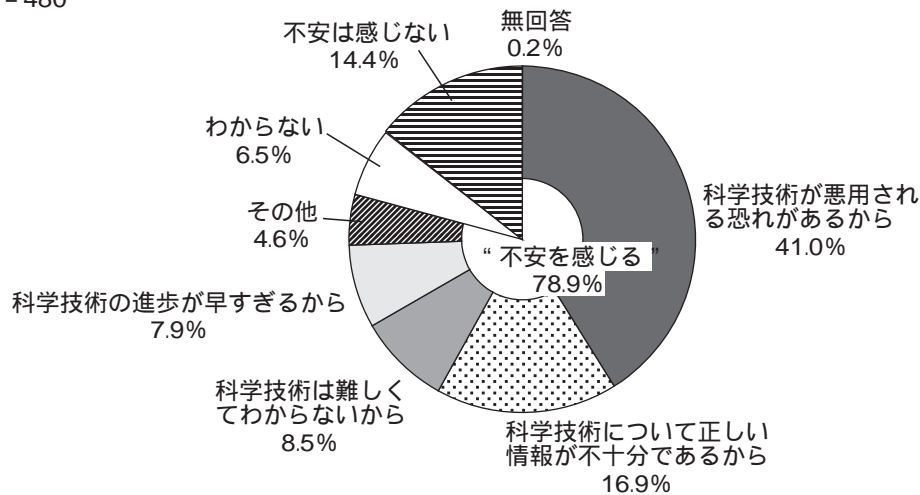
「科学技術」の発展により、多くの方が、生活に関わる様々なもの、特にモノや身の回りの環境が向上したと認識されています。

一方で、地球環境や自然環境、食の安心・安全性に関する割合が低いのは、昨今の環境問題や、国内外の食に関わる問題の影響によるものと思われます。（産業労働部新産業課科学技術推進室）

5 科学技術の発展による不安理由

問5 あなたは科学技術の発展について不安を感じますか。感じる場合は、その理由をお答えください。(回答は1つ)

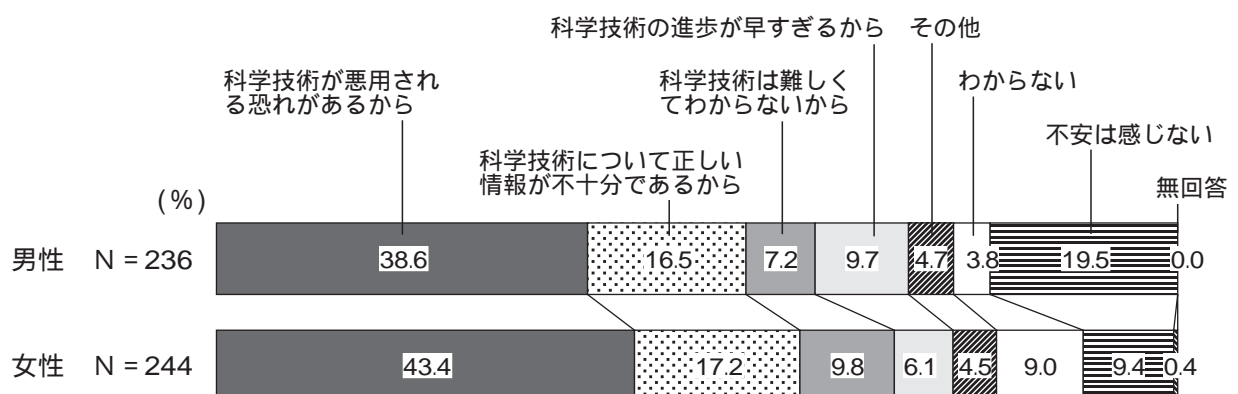
N = 480



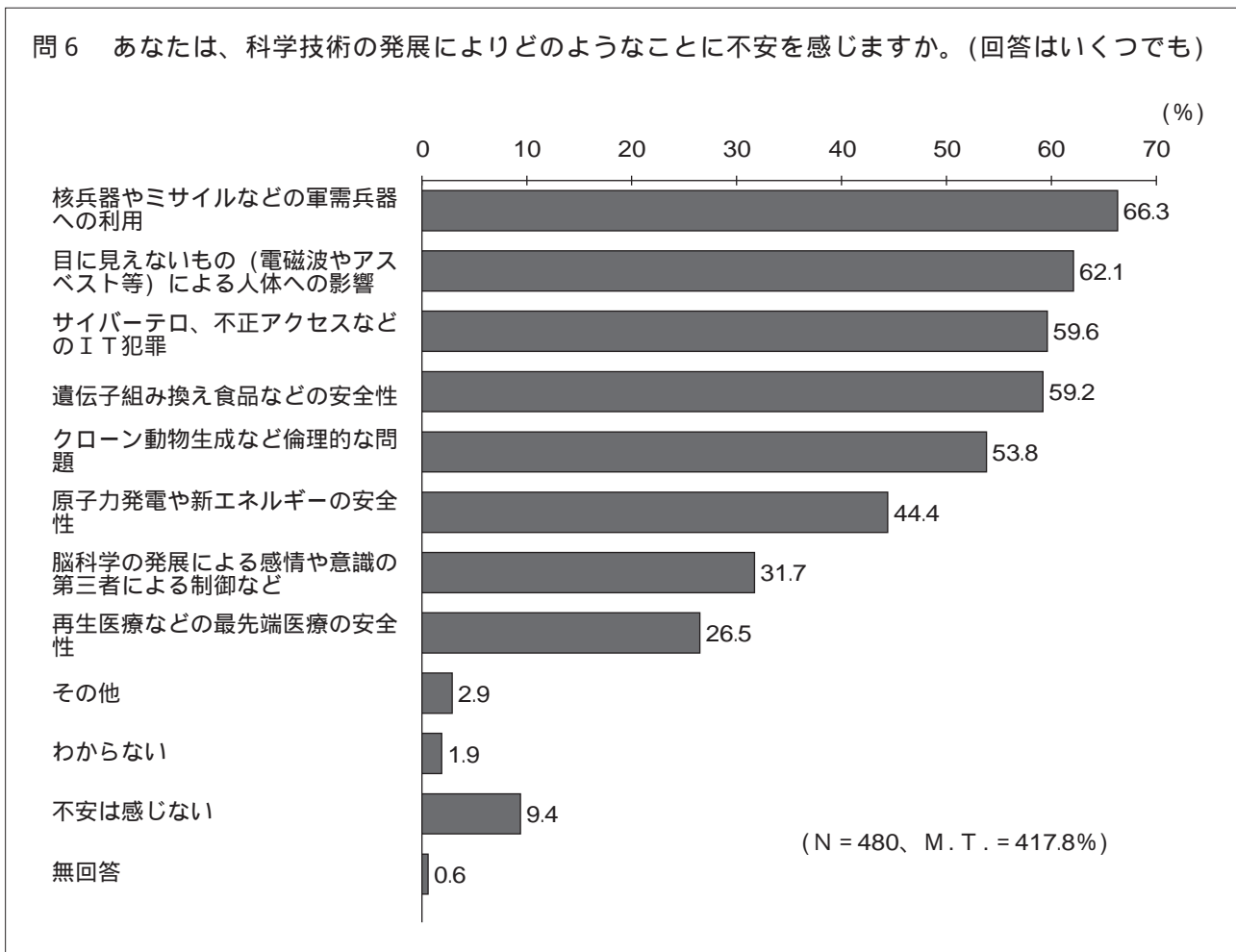
科学技術の発展について不安を感じるか、感じる場合はその理由を尋ねたところ、「科学技術が悪用される恐れがあるから」が41.0%、「科学技術について正しい情報が不十分であるから」が16.9%、「科学技術は難しくてわからないから」が8.5%、「科学技術の進歩が早すぎるから」が7.9%、「その他」が4.6%で、これらを合わせた“不安を感じる”が78.9%に対し、「不安は感じない」が14.4%となっている。

男女別にみると、“不安を感じる”と答えた人の割合は女性で高くなっている。

(男女別)



6 科学技術の発展による不安なこと



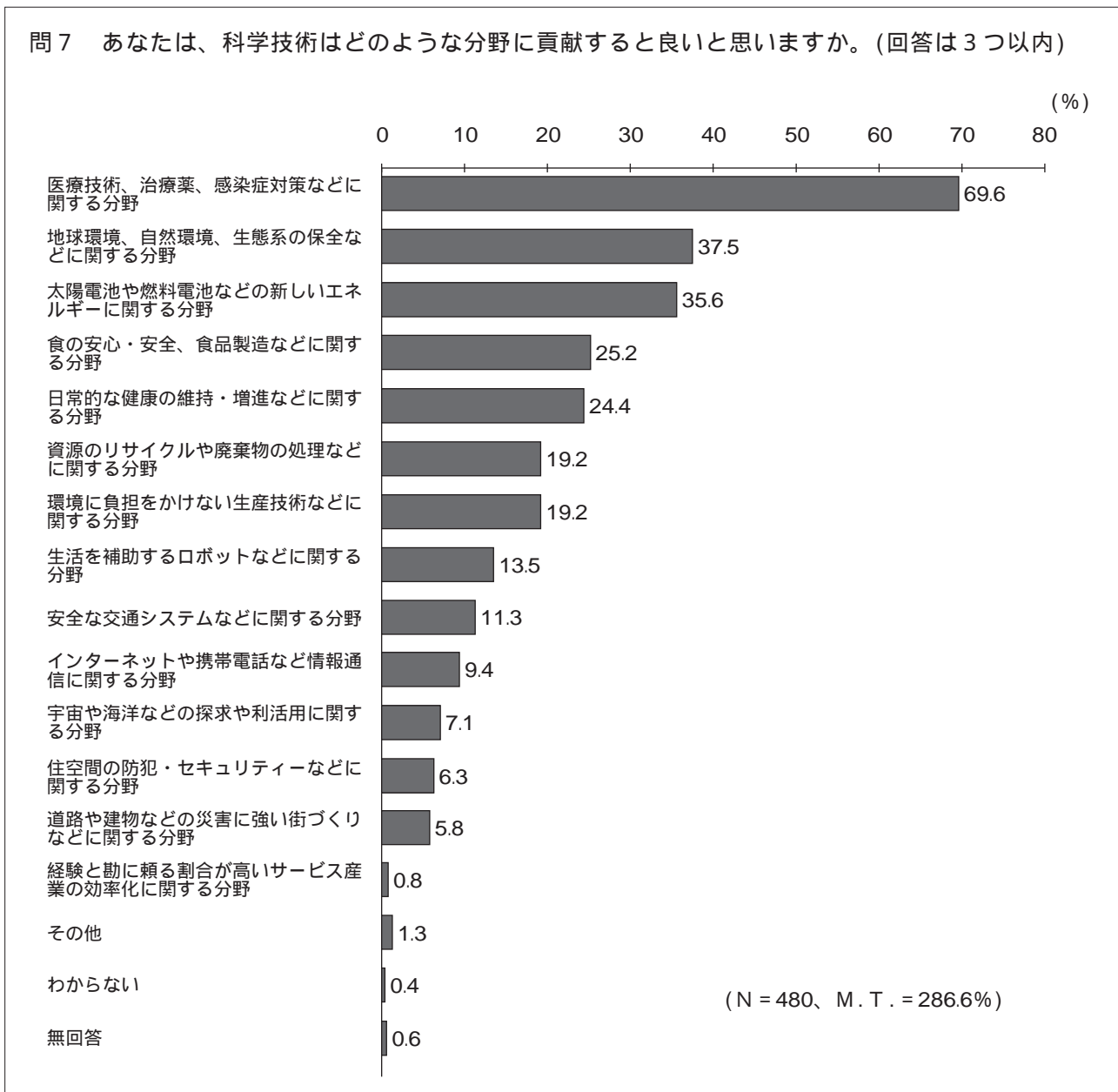
科学技術の発展によりどのようなことに不安を感じているかを尋ねたところ、「核兵器やミサイルなどの軍需兵器への利用」が66.3%、「目に見えないもの(電磁波やアスベスト等)による人体への影響」が62.1%、「サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪」が59.6%、「遺伝子組み換え食品などの安全性」が59.2%、「クローン動物生成など倫理的問題」が53.8%、などとなっている。一方、「不安は感じない」は、9.4%となっている。

「科学技術」のイメージについて、問3では快適な生活をもたらし、明るい未来を実現させるという回答が多かった一方で、問5では不安があるという回答が8割近くとなり、「科学技術」には、プラスとマイナスの両面のイメージが混在していることがうかがわれます。

また、問6では、兵器への利用や健康、食品の安全性などへの不安が多く指摘されました。県としては、「科学技術」に関する正しい情報を県民の皆様にはわかりやすく提供するとともに、科学技術の推進における社会観や倫理観に関する取り組みを、今後一層推進してまいります。

(産業労働部新産業課科学技術推進室)

7 科学技術が貢献するべき分野

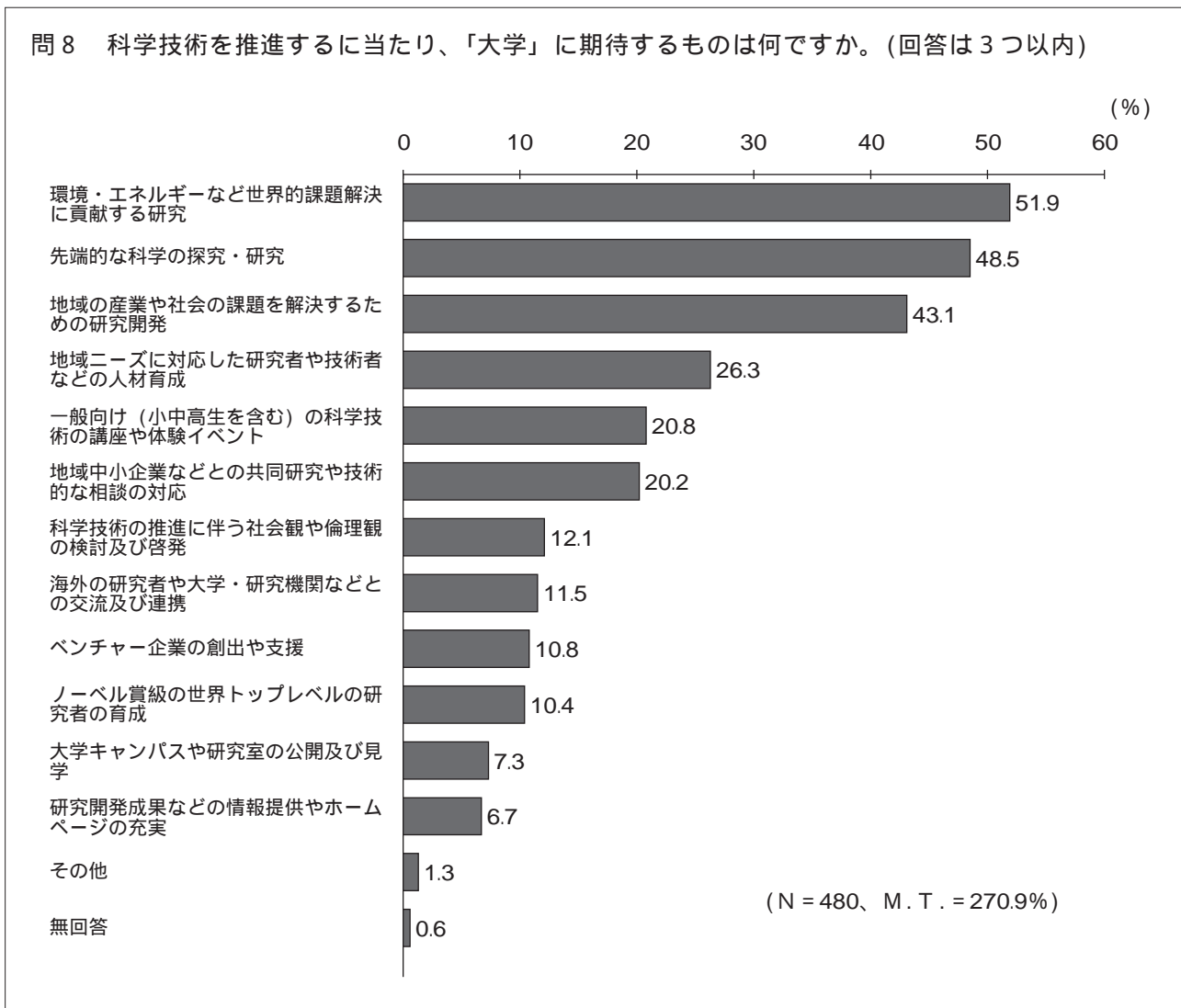


科学技術はどのような分野に貢献すると良いと思うかを尋ねたところ、「医療技術、治療薬、感染症対策などに関する分野」が69.6%、「地球環境、自然環境、生態系の保全などに関する分野」が37.5%、「太陽電池や燃料電池などの新しいエネルギーに関する分野」が35.6%、「食の安心・安全、食品製造などに関する分野」が25.2%などとなっている。

「科学技術」が貢献する分野として、医療・治療などに関する分野が突出して高く期待されています。また、医療とともに食品や健康も含めた「人の身体に関わる分野」や、環境保全や新エネルギー、廃棄物処理、新生産技術などの「環境負荷低減に関わる分野」に対する「科学技術」の貢献が、高く期待されています。

(産業労働部新産業課科学技術推進室)

8 大学に期待する科学技術に関する取り組み

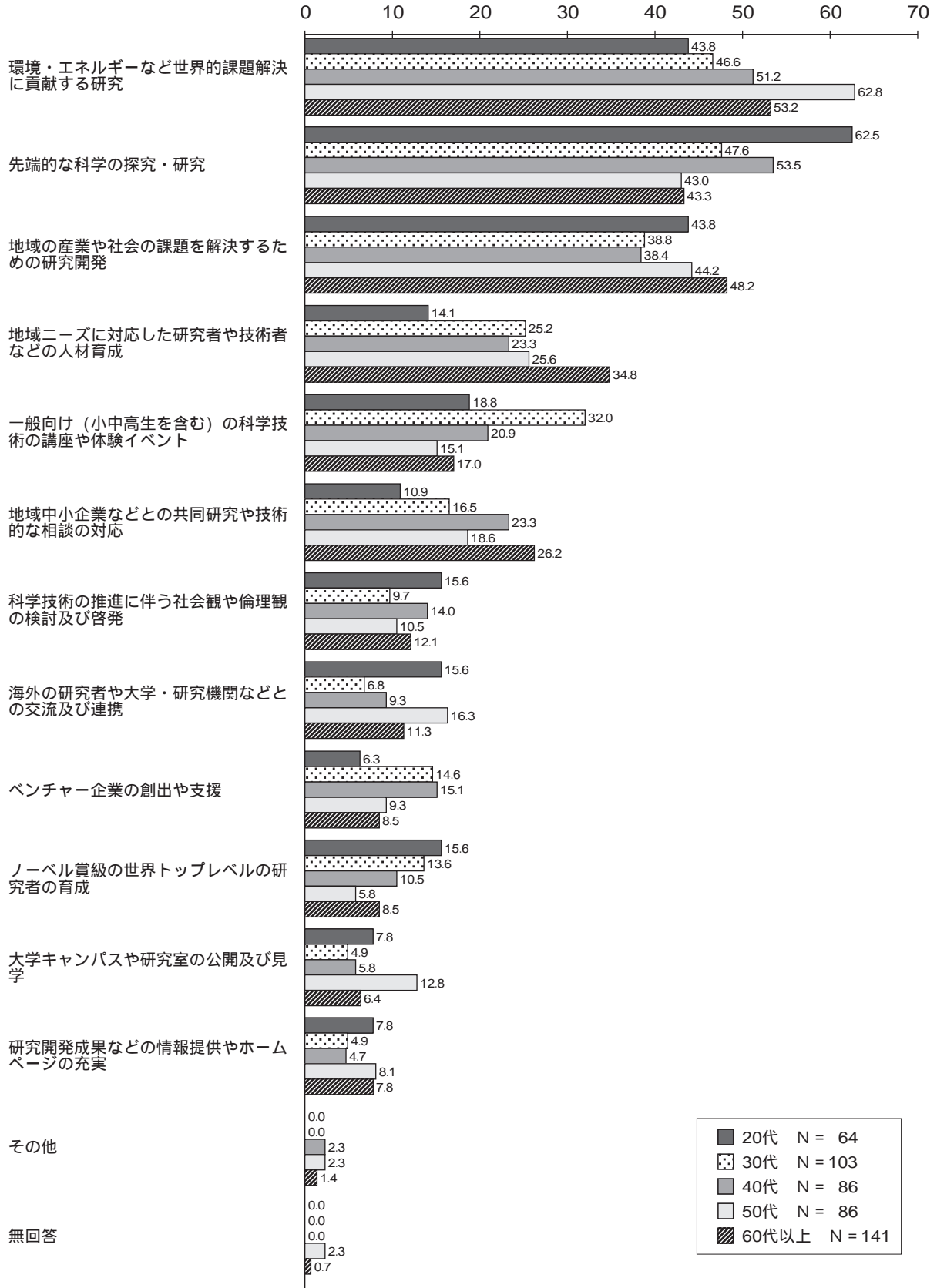


科学技術を推進するに当たり、「大学」に期待するものは何かを尋ねたところ、「環境・エネルギーなど世界的課題解決に貢献する研究」が51.9%、「先端的な科学の探究・研究」が48.5%、「地域の産業や社会の課題を解決するための研究開発」が43.1%、「地域ニーズに対応した研究者や技術者などの人材育成」が26.3%、「一般向け(小中高生を含む)の科学技術の講座や体験イベント」が20.8%などとなっている。

年代別にみると、「環境・エネルギーなど世界的課題解決に貢献する研究」と答えた人の割合は50代で、「先端的な科学の探究・研究」と答えた人の割合は20代でそれぞれ高くなっている。

(年代別)

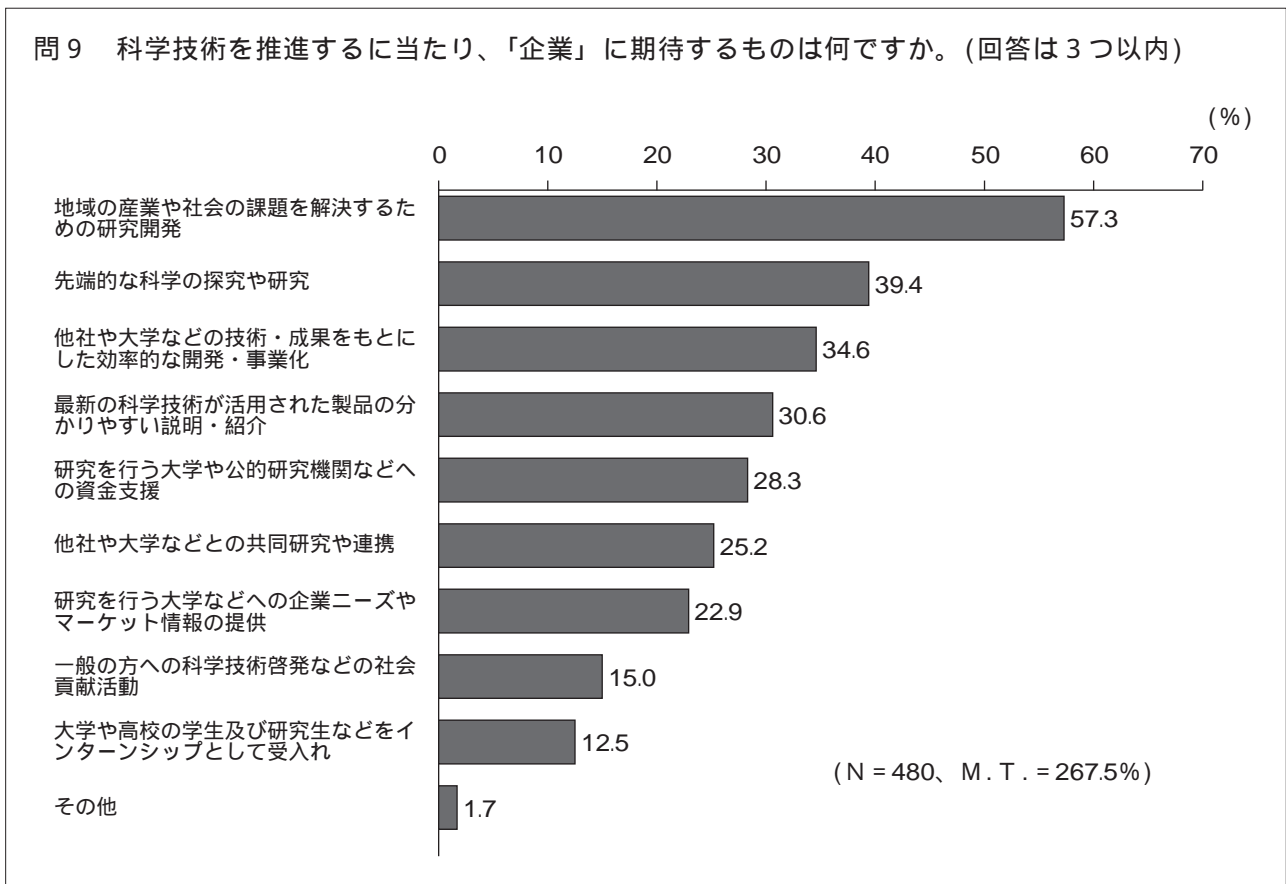
(%)



「大学」の取組みとして、世界的課題解決の研究や先端的科学の研究、地域的課題解決の研究など「研究」を中心とした取組みに多くの期待が寄せられています。

(産業労働部新産業課科学技術推進室)

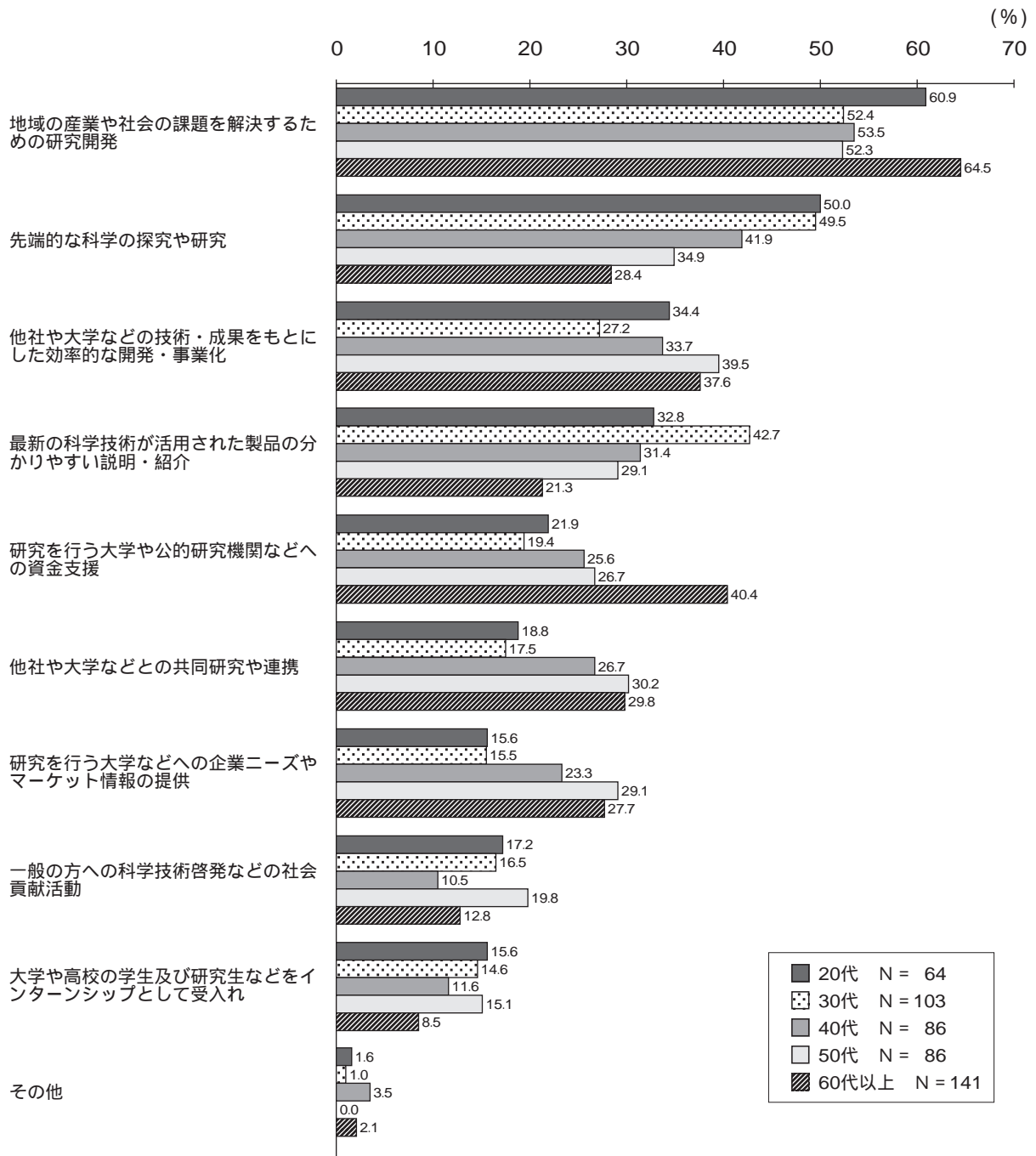
9 企業に期待する科学技術に関する取り組み



科学技術を推進するに当たり、「企業」に期待するものは何かを尋ねたところ、「地域の産業や社会の課題を解決するための研究開発」が57.3%、「先端的な科学の探究や研究」が39.4%、「他社や大学などの技術・成果をもとにした効率的な開発・事業化」が34.6%、「最新の科学技術が活用された製品の分かりやすい説明・紹介」が30.6%、「研究を行う大学や公的研究機関などへの資金支援」が28.3%などとなっている。

年代別にみると、「地域の産業や社会の課題を解決するための研究開発」と答えた人の割合は20代と60代以上でそれぞれ高くなっている。

(年代別)

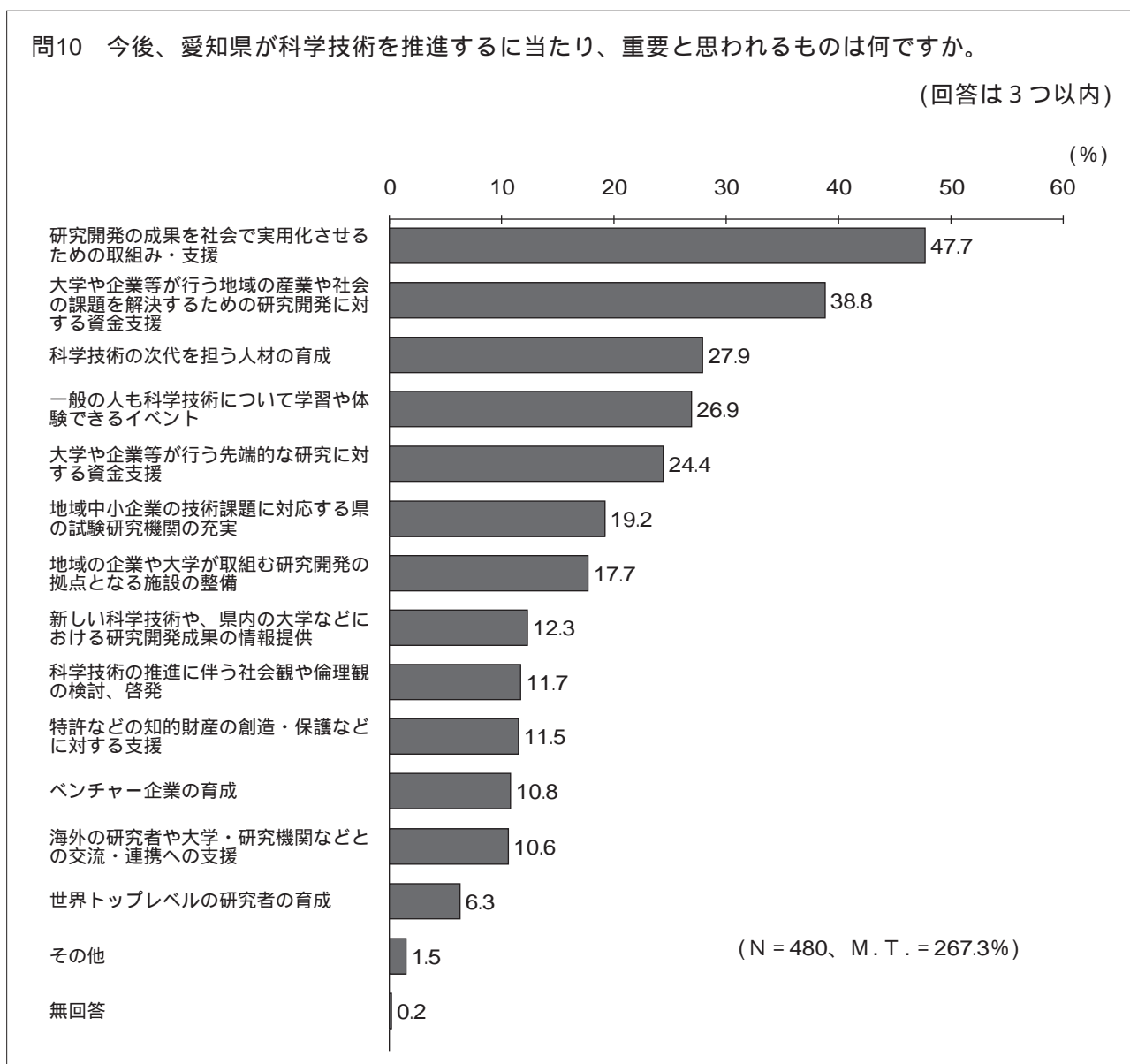


「企業」の取組みとして、地域や社会に貢献する研究開発や、すぐに利益に結びつかないような先端的な科学の研究なども含めて、研究開発に高い期待が寄せられています。

また、地域経済の早期回復を期待して、産学連携による効率的な開発・事業化の取組みや、昨今の消費者保護の高まりにもあるように、製品の分かりやすい説明・紹介が高く望まれています。

(産業労働部新産業課科学技術推進室)

10 県が進めるべき科学技術推進施策



今後、愛知県が科学技術を推進するに当たり、重要と思われるものは何かを尋ねたところ、「研究開発の成果を社会で実用化させるための取組み・支援」が47.7%、「大学や企業等が行う地域の産業や社会の課題を解決するための研究開発に対する資金支援」が38.8%、「科学技術の次代を担う人材の育成」が27.9%、「一般の人も科学技術について学習や体験できるイベント」が26.9%などとなっている。

愛知県の取組みとして、大学や企業等が行う地域・社会の課題を解決する研究開発を支援し、さらにその成果を実用化させるための支援や取組みが望まれています。

これまでも、県として、大学や企業等が行う研究開発の支援や実用化に向けた取組みを行ってまいりましたが、この低迷した経済状況を回復するため、またより良い最新の科学技術を社会に還元するために、研究開発成果を早期に効率よく社会に普及させる取組みが、より一層重要と考えます。

愛知県としましても、こうした県民の皆様のご意見を踏まえつつ、社会経済情勢を勘案しながら、今後の科学技術の推進に努めてまいりたいと考えております。

(産業労働部新産業課科学技術推進室)

11 自由意見

問11 本県の県民生活・産業等の将来にとって必要とお考えの科学技術推進施策について、ご意見・ご提案があれば、自由にお書きください。

愛知県の科学技術推進施策について、自由に意見を記入していただいたところ、246件の意見が寄せられた。それらを大別すると次表のとおりであり、以下、その意見の要旨をいくつか例示した。

項 目	件 数
(1) 科学技術推進施策の必要性について	19
(2) 科学技術が貢献する推進すべき分野について	62
(3) 科学技術を推進する効果的な仕組みについて	16
(4) 大学や企業等が行う研究開発に対する支援について	31
(5) 次代の科学技術を担う人材の教育や育成について	39
(6) 科学技術の理解を深めるための広報や情報提供について	28
(7) 科学技術を身近に触れることができるイベントや施設について	20
(8) 科学技術の推進に伴う社会観や倫理観について	13
(9) その他	18
合 計	246

(1) 科学技術推進施策の必要性について

安心、安全な活力ある愛知を創出することは県民全ての願いであり、心身の健康をはじめ、科学技術に関わる課題に対して県民の協力は欠かせない。

今まで、科学技術と聞けば「人類の」「地球の」「日本の」ためのものとして捉えていたが、今回、回答するにあたり「県民の」「地域の産業の」ために役立つ事の重要性を認識した。特に、中小企業や大学と県（行政）が連携すれば、県が活性化すると思った。

県の科学技術推進施策は安定的な県民生活の向上や潤いには必要であり、中小企業の育成にも必要ではあるが大企業にとっては必要ない。

科学技術が世に出て、県民の生活に貢献できるまでには、相当な年月を必要とする。技術開発から、実用化まで長い目でみて評価しなければならないと思う。

科学技術への取組みには箱物が多いと思うため、ベンチャー企業や中小企業への積極的な融資や、世界一流の研究者の招致や研究者を目指す子供たちへの投資（返済の不要な奨学制度や先端技術を教える学校の設立など）など、税金の使い方の再構築をすべきではないか。

県が進めるべき科学技術推進施策はない。県民生活にとって必要性を感じない科学技術は企業が取り組むべきもので、プラスで国が考えるべきものと思う。

(2) 科学技術が貢献する推進すべき分野について

愛知県は、自動車・宇宙産業・航空機産業といったものづくりの中心地域であるが、今後は地球環境や県民生活環境といったソフト面の技術革新へも向かうといいと思う。

営利第一に考えるのではなく、環境に配慮した科学技術の促進施策を推進してほしい。

現在、世界的な最重要課題は、地球環境問題である。自然環境・生態系破壊や石油資源枯渇などの問題に対して、太陽光発電など自然エネルギーの研究開発に予算を重点的に投入すべきである。

県内の主たる大企業が行う温室効果ガス削減に助成するべき。温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比 25%削減という国の目標に向けて、全国に先駆けて県内でも積極的に取り組むべき。

10年、20年先を見据えて、化石燃料を使わない発電の推進、電気自動車のインフラ整備の研究、食料自給率向上の研究は必須であろう。また、これら問題に関して発展途上国への支援体制整備(人づくりも含め)も必要と思う。

地球に安心して暮らしていけるのは、あと何年か?環境に負担をかけない生産技術の構築が大切と考える。今後、さらなる科学技術の発達で、地球環境を守ってほしい。

食料問題に特に力を注ぐべき。他の分野は国レベルで対応すべき。病害虫に強い野菜・米の開発などの研究にもっと力を注ぐべき。

汚染米・肉の偽装を科学技術で見抜く方法はないものか。これだけ偽装が続くとうんざり。新型インフルエンザのワクチン、輸入品になると国内で生産されたものと同レベルか不安。

豊橋市にとっては、うずらはある意味、伝統産業であり、そのうずら産業を以前の水準以上に回復するために、世界レベルの科学技術推進施策を希望する。

これだけ農業と工業が盛んな地域だけに、これらの産業が上手く結びつき、質が向上することや、生産技術が向上することを望む。

一人暮らしのお年寄りを助けるロボットや、介護分野で活躍するロボットなど、生活の利便性を高める研究開発や施策が必要。

愛知県は交通事故死亡者数ワースト1だが、ワースト1はただ単に、運転手のみの問題なのか?科学技術を活用して自動車交通量や道路の形状、信号機などを改良し、向上できないか?

愛知県はトヨタをはじめとして自動車産業が中心である。そのノウハウは下請け企業においてもロボット工学など多岐にわたる。その特性を伸ばしていくことが一番ではないかと思う。

(3) 科学技術を推進する効果的な仕組みについて

大学や専門の科学技術研究機関は、より先を見た技術開発を行い、企業は具現化の可能性があるテーマの技術開発を行うのに対し、県はその両者をうまく結びつける諸施策を担うことだと思う。

研究者と技術者を区別するのではなく、全体として技術研究という分野で支援していくと良い。県職員の研究者と技術者の業務成果にも期待している。

仕事柄、尾張繊維技術センターを利用したことがあるが、重要性を感じている。

産官学の一層の連携。その個々が集約し、それが次代へと続く手助け（特区等）の充実等があれば、景気後退期の代替政策になるのでは。

県民に関わる生活や産業の分野での科学技術を社会で運用させる取組みが、県民の理解を得られる施策になると思う。

県民から研究開発テーマを募集し、それらを活かすシステムの構築を要望する。

(4) 大学や企業等が行う研究開発に対する支援について

近年、新興国の発展が著しく、このままでは日本は世界から蹴落とされてしまう恐れがあるため、大学や企業が科学技術の研究・開発に打ち込みやすい環境となるよう行政による支援を望む。

科学技術がいくら進化しても、それが一般に普及しなければ何の意味もなさない。『大学のエゴ』的な、何の意味もなさそうな研究に対しては、県民の税金を持って支援すべきではない。収益を目的として科学技術研究をしている企業に習い、県も収益性を見込むべきである。

大学や企業に資金援助するなら、その成果が県民のためになるか、なったか厳しく評価するべき。地域の産業や地域の課題を解決するための研究開発に資金を援助してほしい。

企業としてや大学としてという枠組みではなく、興味がある分野について、研究したい人が進んで研究できるような場をつくることができればと思う。

ベンチャー企業に対する支援、特に資金面の支援を重視して欲しい。民間による資金支援と異なり、公的機関の支援ならではの長期的な支援を期待。

(5) 次代の科学技術を担う人材の教育や育成について

日本は資源に乏しく、唯一の資源と言ってもいい人材の育成が重要。先進国の中でも日本の高等教育への個人負担は大きいため、高等教育、特に大学生への奨学制度の充実が望まれる。

理系離れが小・中・高で進んでいる今、科学技術振興のためにはもっと積極的に県が中心になって理系教育に力を入れるとよい。

やる気のある優秀な学生や研究者が県外へ出て行かないような対策（受け皿作り）が必要。

科学技術の基本である教育において、成果を挙げている学校関係者や教育者などの褒賞を増やしてほしい。

小中学校のカリキュラムに実験・研究のような実習授業やアニメ等に出てくる道具等をテーマに空想しディスカッションする授業等、子供たちがワクワクするようなものを組み込んではどうか。

多様化した社会の中で、特に若い子供たちが理科や科学に興味をもてる機会を増やす努力は重要。面白い内容で、子供たちを引きつけることは重要だが、中学生や高校生が本物の科学に触れることを通じて『見て面白い』から、さらに進んで『考え、工夫することを楽しむ』ことができるよう将来を担う子供たちを育成するために、予算、人的資源、既存の施設等を最大限活用すべき。

イベントだけでなく、各小学校に各大学との科学の交流を作っていただければと思う。

(6) 科学技術の理解を深めるための広報や情報提供について

私たちの生活が便利になるような科学技術研究がわかりやすく紹介されれば、科学技術施策の推進への理解が進むと思う。

科学技術で恐いのは良い面ばかり強調されること。悪い面、マイナス面もしっかり情報開示してほしい。

愛知県の中心産業である製造業・農業にどのように科学技術が生かされ、どのような問題があるかを分かりやすく周知してほしい。

近所に何をしているのか分からない研究所等があると生活に不安を感じる。看板や掲示板などを作り、何を何の為にしている所なのか、廃棄物などを出す場合は、安全かどうか広報してほしい。

科学は、科学者だけが関わるものでなく、県民が生活者の目線で、自己確認、自己調査ができるような環境も必要。

科学技術推進施策等について、マスコミをはじめ広報あいちなどを通じて県民に対して周知活動を活発に行っていただきたい。自分の科学技術についての知識・関心の低さを痛感した。

このアンケートで「愛知県科学技術大綱」を初めて知った。もう少し、一般の人にも分かってもらわないと意味がない。

(7) 科学技術を身近に触れることができるイベントや施設について

学校で学習する理科だけでなく日常生活で体験する科学技術や実際に社会で活用される科学技術を体験できるような機会を設けてほしい。

子供たちは、科学技術を駆使した機器を使いこなす柔軟さがあるのに、科学離れが進んでいるといわれるのは、触れ合う機会が少ないからではないか。身近に触れ合うことのできる環境、施設などを増やすべき。

科学の楽しさを子供たちへ伝えるイベント開催などを通じて最先端研究を知りたい。専門家による講座を各地で開くなど市民が参加しやすい形を考えて欲しい。

小学2年生の孫は児童センターにて月に1回行われる発明（実験）クラブや、大学での発明公開講座なども楽しく受講している。このような機会が多数あれば良いと思う。

愛知県はロケット・自動車・セラミック産業といった先端科学技術関連企業が集積している。こうした地の利を生かし、これからの日本を担う若年層を対象とした科学技術イベントを産官学一体となって積極的に開催して欲しい。

(8) 科学技術の推進に伴う社会観や倫理観について

人類の未来は科学技術の進歩に相応するが、コントロール技術（倫理・哲学等）の発達が伴ってこそと思う。

科学技術は良い発展もあれば悪い方へ進む可能性もあると思う。科学技術の進歩に人間の倫理観が追いついていないように思うため、科学技術の施策に倫理観も学べる機会をお願いしたい。

科学技術は生活を便利にしてくれるという良いイメージがある一方で、一歩間違えると核のような兵器にもなりうるというイメージもある。研究する方の倫理観教育も力を入れて頂きたい。

どれだけ科学技術が進んだとしても、人として大切な事を忘れるようでは何もならない。人が科学によって悲しむことのない平和な地球のための科学技術推進であってほしい。

最先端の科学技術を推進してほしいが、それにより自然などの破壊を余儀なくされることがとても残念。愛知県においてはそういうことのないようフォローをお願いしたい。

(9) その他

科学技術という言葉の意味がわかるようでわからなかった。でも、アンケートを終えて少し興味がわいてきた。

科学技術推進は具体的には何をどのような活動をしていくのか民間人ではよくわからない。

今後、間違いなく消費活動が落ち込んでいくので、将来の人口予測を基に、公共団体、企業そして人がどのような生活をすれば社会が維持されるのか研究を行い、その結果内容を提供してほしい。厳しい事実を伝えなければ、いつまでも過浪費生活から抜け出すことはできない。

ものづくり日本一を誇る愛知県は、科学技術の振興に多大な貢献をしてきたと思う。それを100年に一度といわれる不況とはいえ、簡単に生産現場の人たちをリストラすることは大きな損失。

最先端の科学技術の推進と共に、愛知県にしかない伝統技術の育成、保存、継承にも大切に取り組んでいただきたい。

質問と回答 (単位...「総数」：人、「総数」以外：%、四捨五入により合計は必ずしも100%にならない)

1 科学技術への関心

問1 あなたは「科学技術」に関するニュースや話題についてどの程度の関心をおもちですか。

(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	480	236	244	147	184	149	64	103	86	86	141
1 非常に関心がある	19.6	32.2	7.4	13.6	21.7	22.8	10.9	11.7	16.3	25.6	27.7
2 ある程度関心がある	51.9	50.4	53.3	60.5	45.1	51.7	53.1	41.7	59.3	50.0	55.3
3 どちらともいえない	15.6	10.6	20.5	15.6	18.5	12.1	20.3	18.4	15.1	12.8	13.5
4 あまり関心はない	11.3	5.9	16.4	8.8	13.0	11.4	14.1	23.3	9.3	10.5	2.8
5 まったく関心がない	1.7	0.8	2.5	1.4	1.6	2.0	1.6	4.9	0.0	1.2	0.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2 科学技術が家族の話題になる頻度

問2 家族の会話の中で、「科学技術」や「理科」が話題になることがありますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	480	236	244	147	184	149	64	103	86	86	141
1 ほぼ毎日	4.4	4.7	4.1	1.4	6.0	5.4	1.6	3.9	9.3	2.3	4.3
2 1週間に1回程度	25.6	31.8	19.7	21.8	31.0	22.8	26.6	21.4	27.9	30.2	24.1
3 1ヶ月に1回程度	28.8	28.8	28.7	32.0	25.0	30.2	18.8	21.4	26.7	27.9	40.4
4 ほとんどない	41.3	34.7	47.5	44.9	38.0	41.6	53.1	53.4	36.0	39.5	31.2
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3 科学技術に対するイメージ

問3 あなたは「科学技術」について、どのようなイメージを持っていますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	480	236	244	147	184	149	64	103	86	86	141
1 様々な技術革新で生活を便利で快適にしている	32.9	33.9	32.0	31.3	29.9	38.3	43.8	28.2	34.9	31.4	31.2
2 未来の夢を実現していくために必要なもの	30.2	31.8	28.7	32.7	31.5	26.2	21.9	28.2	27.9	31.4	36.2
3 産業を活性化させ景気を回復させる	13.1	15.3	11.1	9.5	16.8	12.1	12.5	11.7	16.3	11.6	13.5
4 今の科学技術は複雑で分かりにくい	7.7	5.9	9.4	10.9	5.4	7.4	7.8	8.7	8.1	7.0	7.1
5 プラスの面もあるが、マイナス面の方が多い	3.8	4.2	3.3	4.8	2.7	4.0	0.0	7.8	3.5	5.8	1.4
6 自分の生活にはあまり関係がない	4.2	3.0	5.3	3.4	4.9	4.0	4.7	4.9	2.3	3.5	5.0
7 特別なイメージはもっていない	5.0	2.1	7.8	3.4	6.0	5.4	4.7	8.7	4.7	5.8	2.1
8 その他	3.1	3.8	2.5	4.1	2.7	2.7	4.7	1.9	2.3	3.5	3.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

4 科学技術により向上したもの

問4 科学技術の発展により向上したと思われるものはありますか。(回答はいくつでも)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	480	236	244	147	184	149	64	103	86	86	141
1 生活環境の快適性	81.3	83.9	78.7	75.5	84.8	82.6	82.8	78.6	77.9	88.4	80.1
2 食の安心・安全性	36.9	37.7	36.1	33.3	38.6	38.3	29.7	34.0	26.7	36.0	48.9
3 人の健康	50.0	53.8	46.3	41.5	54.9	52.3	40.6	47.6	43.0	57.0	56.0
4 経済的豊かさ	53.8	62.3	45.5	49.0	53.3	59.1	45.3	49.5	50.0	58.1	60.3
5 機械や道具などの利便性	83.5	84.7	82.4	83.7	83.2	83.9	89.1	88.3	88.4	84.9	73.8
6 地球環境や自然環境	31.5	32.2	30.7	23.1	34.2	36.2	23.4	27.2	31.4	33.7	36.9
7 その他	2.5	2.1	2.9	4.1	1.6	2.0	1.6	1.0	3.5	2.3	3.5
8 向上したと思わない	1.3	1.3	1.2	2.0	1.1	0.7	0.0	1.0	3.5	1.2	0.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5 科学技術の発展による不安理由

問5 あなたは科学技術の発展について不安を感じますか。感じる場合は、その理由をお答えください
(不安は感じない方は「7」を選択してください)。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代 以上
総数	480	236	244	147	184	149	64	103	86	86	141
1 科学技術は難しくてわからないから	8.5	7.2	9.8	5.4	8.7	11.4	14.1	12.6	7.0	4.7	6.4
2 科学技術の進歩が早すぎるから	7.9	9.7	6.1	7.5	7.1	9.4	3.1	3.9	10.5	10.5	9.9
3 科学技術が悪用される恐れがあるから	41.0	38.6	43.4	44.9	44.0	33.6	42.2	37.9	41.9	43.0	41.1
4 科学技術について正しい情報が不十分であるから	16.9	16.5	17.2	18.4	15.2	17.4	21.9	13.6	14.0	22.1	15.6
5 その他	4.6	4.7	4.5	4.8	4.3	4.7	1.6	6.8	7.0	5.8	2.1
6 わからない	6.5	3.8	9.0	6.1	5.4	8.1	9.4	8.7	5.8	4.7	5.0
7 不安は感じない	14.4	19.5	9.4	12.9	14.7	15.4	7.8	16.5	14.0	9.3	19.1
無回答	0.2	0.0	0.4	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7

6 科学技術の発展による不安なこと

問6 あなたは、科学技術の発展によりどのようなことに不安を感じますか (不安は感じない方は「11」を選択してください)。(回答はいくつでも)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代 以上
総数	480	236	244	147	184	149	64	103	86	86	141
1 サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪	59.6	61.9	57.4	63.9	57.6	57.7	60.9	66.0	57.0	65.1	52.5
2 遺伝子組み換え食品などの安全性	59.2	59.3	59.0	61.2	56.5	60.4	51.6	57.3	57.0	67.4	60.3
3 原子力発電や新エネルギーの安全性	44.4	36.9	51.6	40.8	40.8	52.3	40.6	42.7	50.0	45.3	43.3
4 核兵器やミサイルなどの軍需兵器への利用	66.3	63.1	69.3	64.6	64.7	69.8	68.8	65.0	69.8	69.8	61.7
5 目に見えないもの(電磁波やアスベスト等)による人体への影響	62.1	57.2	66.8	61.9	58.7	66.4	68.8	67.0	58.1	62.8	57.4
6 再生医療などの最先端医療の安全性	26.5	26.3	26.6	23.8	23.9	32.2	15.6	26.2	23.3	29.1	31.9
7 クローン動物生成など倫理的な問題	53.8	51.7	55.7	53.7	54.3	53.0	54.7	41.7	59.3	62.8	53.2
8 脳科学の発展による感情や意識の第三者による制御など	31.7	30.1	33.2	40.1	25.5	30.9	29.7	28.2	38.4	33.7	29.8
9 その他	2.9	3.4	2.5	3.4	2.7	2.7	1.6	1.9	4.7	3.5	2.8
10 わからない	1.9	1.3	2.5	1.4	2.2	2.0	0.0	1.9	4.7	1.2	1.4
11 不安は感じない	9.4	12.7	6.1	7.5	9.2	11.4	6.3	4.9	12.8	8.1	12.8
無回答	0.6	0.0	1.2	0.7	0.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1

7 科学技術が貢献すべき分野

問7 あなたは、科学技術はどのような分野に貢献すると良いと思いますか。(回答は3つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	480	236	244	147	184	149	64	103	86	86	141
1 日常的な健康の維持・増進などに関する分野	24.4	23.7	25.0	23.1	25.0	24.8	21.9	25.2	20.9	25.6	26.2
2 食の安心・安全、食品製造などに関する分野	25.2	24.6	25.8	25.2	25.0	25.5	15.6	21.4	18.6	31.4	32.6
3 医療技術、治療薬、感染症対策などに関する分野	69.6	64.8	74.2	73.5	66.8	69.1	73.4	68.0	60.5	70.9	73.8
4 生活を補助するロボットなどに関する分野	13.5	15.3	11.9	13.6	15.2	11.4	15.6	13.6	18.6	12.8	9.9
5 住空間の防犯・セキュリティなどに関する分野	6.3	5.9	6.6	8.2	5.4	5.4	12.5	10.7	8.1	1.2	2.1
6 インターネットや携帯電話など情報通信に関する分野	9.4	12.3	6.6	10.9	8.7	8.7	9.4	11.7	10.5	9.3	7.1
7 安全な交通システムなどに関する分野	11.3	14.8	7.8	8.2	10.3	15.4	7.8	11.7	14.0	11.6	10.6
8 地球環境、自然環境、生態系の保全などに関する分野	37.5	39.4	35.7	35.4	37.5	39.6	31.3	34.0	37.2	43.0	39.7
9 資源のリサイクルや廃棄物の処理などに関する分野	19.2	19.9	18.4	23.1	15.8	19.5	25.0	19.4	19.8	16.3	17.7
10 環境に負担をかけない生産技術などに関する分野	19.2	13.6	24.6	15.6	22.8	18.1	23.4	18.4	20.9	18.6	17.0
11 太陽電池や燃料電池などの新しいエネルギーに関する分野	35.6	38.6	32.8	32.0	34.8	40.3	29.7	37.9	46.5	36.0	29.8
12 道路や建物などの災害に強い街づくりなどに関する分野	5.8	3.8	7.8	6.1	6.5	4.7	12.5	3.9	5.8	2.3	6.4
13 宇宙や海洋などの探求や利活用に関する分野	7.1	8.5	5.7	12.2	4.9	4.7	6.3	7.8	5.8	7.0	7.8
14 経験と勘に頼る割合が高いサービス産業の効率化に関する分野	0.8	0.8	0.8	1.4	1.1	0.0	0.0	1.0	0.0	2.3	0.7
15 その他	1.3	2.5	0.0	1.4	0.5	2.0	0.0	0.0	3.5	0.0	2.1
16 わからない	0.4	0.0	0.8	0.0	0.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
無回答	0.6	0.8	0.4	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.4

8 大学に期待する科学技術に関する取り組み

問8 科学技術を推進するに当たり、「大学」に期待するものは何ですか。(回答は3つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	480	236	244	147	184	149	64	103	86	86	141
1 先端的な科学の探究・研究	48.5	51.3	45.9	51.7	47.8	46.3	62.5	47.6	53.5	43.0	43.3
2 地域の産業や社会の課題を解決するための研究開発	43.1	41.9	44.3	44.9	41.3	43.6	43.8	38.8	38.4	44.2	48.2
3 地域中小企業などとの共同研究や技術的な相談の対応	20.2	17.8	22.5	19.0	16.8	25.5	10.9	16.5	23.3	18.6	26.2
4 環境・エネルギーなど世界的課題解決に貢献する研究	51.9	52.1	51.6	49.0	47.8	59.7	43.8	46.6	51.2	62.8	53.2
5 ノーベル賞級の世界トップレベルの研究者の育成	10.4	11.9	9.0	12.9	9.8	8.7	15.6	13.6	10.5	5.8	8.5
6 地域ニーズに対応した研究者や技術者などの人材育成	26.3	24.2	28.3	24.5	28.3	25.5	14.1	25.2	23.3	25.6	34.8
7 一般向け(小中高生を含む)の科学技術の講座や体験イベント	20.8	18.2	23.4	23.8	21.2	17.4	18.8	32.0	20.9	15.1	17.0
8 大学キャンパスや研究室の公開及び見学	7.3	7.6	7.0	4.1	7.1	10.7	7.8	4.9	5.8	12.8	6.4
9 研究開発成果などの情報提供やホームページの充実	6.7	6.8	6.6	4.1	9.8	5.4	7.8	4.9	4.7	8.1	7.8
10 ベンチャー企業の創出や支援	10.8	16.1	5.7	7.5	15.2	8.7	6.3	14.6	15.1	9.3	8.5
11 海外の研究者や大学・研究機関などとの交流及び連携	11.5	10.2	12.7	13.6	8.7	12.8	15.6	6.8	9.3	16.3	11.3
12 科学技術の推進に伴う社会観や倫理観の検討及び啓発	12.1	13.6	10.7	16.3	9.2	11.4	15.6	9.7	14.0	10.5	12.1
13 その他	1.3	1.7	0.8	2.7	0.5	0.7	0.0	0.0	2.3	2.3	1.4
無回答	0.6	0.4	0.8	0.0	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0	2.3	0.7

9 企業に期待する科学技術に関する取り組み

問9 科学技術を推進するに当たり、「企業」に期待するものは何ですか。(回答は3つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	480	236	244	147	184	149	64	103	86	86	141
1 先端的な科学の探究や研究	39.4	38.6	40.2	40.1	37.0	41.6	50.0	49.5	41.9	34.9	28.4
2 地域の産業や社会の課題を解決するための研究開発	57.3	56.4	58.2	61.2	54.9	56.4	60.9	52.4	53.5	52.3	64.5
3 他社や大学などの技術・成果をもとにした効率的な開発・事業化	34.6	34.7	34.4	34.7	35.3	33.6	34.4	27.2	33.7	39.5	37.6
4 研究を行う大学などへの企業ニーズやマーケット情報の提供	22.9	22.0	23.8	23.1	25.5	19.5	15.6	15.5	23.3	29.1	27.7
5 他社や大学などとの共同研究や連携	25.2	28.8	21.7	25.2	26.6	23.5	18.8	17.5	26.7	30.2	29.8
6 大学や高校の学生及び研究生などをインターンシップとして受入れ	12.5	11.4	13.5	10.9	12.5	14.1	15.6	14.6	11.6	15.1	8.5
7 研究を行う大学や公的研究機関などへの資金支援	28.3	30.1	26.6	25.9	28.3	30.9	21.9	19.4	25.6	26.7	40.4
8 最新の科学技術が活用された製品の分かりやすい説明・紹介	30.6	29.2	32.0	31.3	29.9	30.9	32.8	42.7	31.4	29.1	21.3
9 一般の方への科学技術啓発などの社会貢献活動	15.0	12.7	17.2	13.6	12.0	20.1	17.2	16.5	10.5	19.8	12.8
10 その他	1.7	3.0	0.4	1.4	2.7	0.7	1.6	1.0	3.5	0.0	2.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

10 県が進めるべき科学技術推進施策

問10 今後、愛知県が科学技術を推進するに当たり、重要と思われるものは何ですか。

(回答は3つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代 以上
総数	480	236	244	147	184	149	64	103	86	86	141
1 大学や企業等が行う先端的な研究に対する資金支援	24.4	23.3	25.4	22.4	27.7	22.1	21.9	28.2	33.7	18.6	20.6
2 大学や企業等が行う地域の産業や社会の課題を解決するための研究開発に対する資金支援	38.8	35.2	42.2	36.7	42.9	35.6	39.1	28.2	36.0	47.7	42.6
3 研究開発の成果を社会で実用化させるための取組み・支援	47.7	48.3	47.1	55.8	44.6	43.6	46.9	45.6	43.0	45.3	53.9
4 地域中小企業の技術課題に対応する県の試験研究機関の充実	19.2	23.3	15.2	20.4	16.8	20.8	12.5	7.8	19.8	29.1	24.1
5 地域の企業や大学が取組む研究開発の拠点となる施設の整備	17.7	19.5	16.0	19.0	18.5	15.4	21.9	12.6	15.1	19.8	19.9
6 海外の研究者や大学・研究機関などとの交流・連携への支援	10.6	10.2	11.1	12.2	11.4	8.1	14.1	7.8	4.7	15.1	12.1
7 特許などの知的財産の創造・保護などに対する支援	11.5	12.3	10.7	8.2	9.8	16.8	9.4	12.6	12.8	14.0	9.2
8 ベンチャー企業の育成	10.8	15.7	6.1	8.8	12.5	10.7	4.7	15.5	12.8	7.0	11.3
9 世界トップレベルの研究者の育成	6.3	6.8	5.7	6.8	6.5	5.4	6.3	7.8	9.3	4.7	4.3
10 科学技術の次代を担う人材の育成	27.9	25.8	29.9	27.2	24.5	32.9	29.7	27.2	27.9	23.3	30.5
11 新しい科学技術や、県内の大学などにおける研究開発成果の情報提供	12.3	12.7	11.9	14.3	7.6	16.1	6.3	8.7	12.8	14.0	16.3
12 一般の人も科学技術について学習や体験できるイベント	26.9	24.2	29.5	23.1	29.9	26.8	32.8	40.8	29.1	22.1	15.6
13 科学技術の推進に伴う社会観や倫理観の検討、啓発	11.7	11.9	11.5	14.3	12.0	8.7	17.2	11.7	11.6	11.6	9.2
14 その他	1.5	2.5	0.4	1.4	1.1	2.0	3.1	1.0	0.0	1.2	2.1
無回答	0.2	0.0	0.4	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0

平成21年度第4回県政モニターアンケート報告書

「これからの科学技術」
平成21年12月発行
愛知県知事政策局広報広聴課
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話(052)954-6168(ダイヤルイン)

この冊子は、再生紙を使用しています。

